

エコパルなごや

秋号
Vol.112

かんきょうをたのしく学ぶ

とく しゅう
特集

しっ ち ほ ぜん かんが 湿地の保全について考えよう!

みなさんは、「湿地」と聞いてどのような場所を思いうかべますか?

多くのおひとは「じめじめした沼のようなところ」といったような、どこともなく暗い場所を思いうかべるのではないのでしょうか。

しかし、湿地とはそうした沼のようなものだけではなく、河川や湖、湿原、水田、干潟、ため池など、水辺のさまざまな環境をまとめて「湿地」と呼んでいます。

湿地は、湿地特有の動植物を育むだけでなく、多種多様な動植物の生息・生育地になっており、生物多様性を保全するうえで、きわめて重要な生態系です。しかし、日本だけでなく世界中の湿地は、人の活動の拡大によって次々に破壊され、急速に失われつつあります。湿地は人にとっても、その他の生きものにとっても、生きていくうえで欠かすことのできない大切な場所なのです。なぜ、湿地がわたしたちにとって大切な場所で、その環境を守っていかなければならないのかを考えてみましょう。



水田



沼



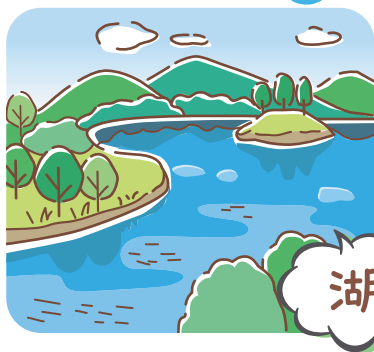
河川



池



わき水



湖

13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



いろいろな話題をお届けします。

とく しゅう
特集

しっ ち ほ ぜん かんが
湿地の保全について考えよう!

エコパル
NEWS

とくべつ 特別ワークショップ、マンスリー企画展示、
かんきょうだいがく なごや環境大学、ふじまえ ひ がた 藤前干潟ふれあい事業の案内

1. 湿地ってどんな場所？

湿地とは、常時あるいは季節的に水をたっぷりと含む土地、あるいは水でおおわれる土地のことをいいます。湿地は自然にできた湿地と人工的につくられた湿地に分かれ、自然にできた湿地はさらに、内陸湿地と海岸湿地に分かれます。湿地といえど干潟や湿原といったものが代表的ですが、ラムサール条約においては、干潮時に水深が6 m以下になる海も湿地に含まれるので、サンゴ礁も湿地の一つです。さらに、水鳥を始めとした動植物にとって重要であれば、水田やダム湖、ため池などの人工的な場所も湿地に含まれています。

湿地の種類と現状

(※)汽水湖:海水と淡水が混じりあった湖のこと。

	位置	湿地の種類
自然湿地	内陸	湿原、河川、湖・沼、わき水、鍾乳洞など
	海岸	干潟、マングローブ林、サンゴ礁、汽水湖(※)など
人工湿地	—	水田、水路、ダム湖、ため池、用水路など



庄内川のヨシ原 (港区)

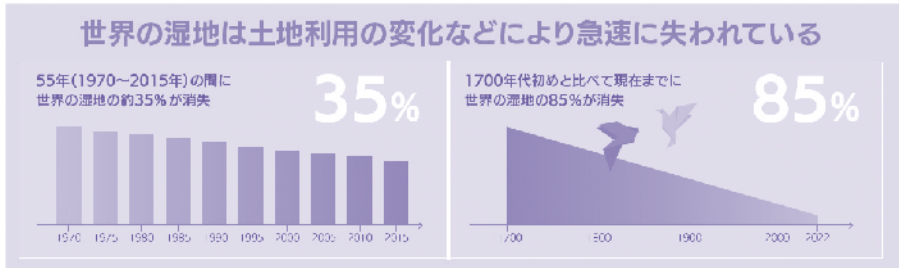
日本は豊富な雨量と海の恩恵を受けた、水に恵まれた国です。小さな国土の中に湿原、河川、干潟、水田などさまざまな湿地が多く存在し、そこには水を必要とするさまざまな動植物が育ち、集まります。さらに湿地は、水を貯めこむことで水害を防いだり、湿地の植物類が炭素を吸収したり、自然ろ過された水や食糧となる動植物を供給するなど、多くのめぐみをわた



八竜新池 (守山区)

したちに与えてくれています。

しかし、日本では、高度経済成長期の急激な都市化に伴う開発や人々の生活様式の変化のために湿地がなくなったり、汚されてしまったりして、湿地にすむ生きものたちも大きな影響を受けており、絶滅の危機にひんしている動植物も少なくありません。湿地がもたらすさまざまな自然のめぐみを守って、再生していくための取り組みが行われているにもかかわらず、1970年～2015年の間に世界の湿地の約35%が失われ、今もなお、面積が減少しつづいています。



出典：環境省ウェブサイト ecojin's EYE「世界湿地の日」
：環境省パンフレット「人と自然のために、湿地を守る
行動を始めよう(2022年[世界湿地の日]資料日本語版)」
写真提供：生物多様性 2050 なごや戦略 (名古屋市環境局)

2. 湿地のめぐみ

湿地は、人と自然が存続していくためには欠かせない場所ですが、わたしたちにどのようなめぐみを与えてくれているのでしょうか。

生きものにすみかを提供する	湿地には多くの生きものが生息、生育しています。また、湿地はさまざまな種の繁殖・巣づくり・越冬のためになくてはならないものです。
きれいな水を提供する	湿地にはたくさんの微生物がいて、水をきれいにする働きがあり、わたしたちが必要とする淡水のほとんどを湿地が提供しています。
食べものを提供する	水田からは、わたしたちの主食であるお米がとれ、浅い海や湖などでは、しじみ、コンブ、ワカサギなどの水産物がとれます。
安全を守る	川の流域の湿った草原は、自然のスポンジのような働きで降った雨を貯めこみ、大雨や台風の際に洪水を防いでくれます。
経済を支える	多くの人々が、漁業や農業によって生計を立てています。また、湿原や湖、サンゴ礁などの湿地には、たくさんの人々が観光に訪れます。

賢明な利用 (ワイズユース)

ワイズユースとは、健全な湿地から得られるめぐみを、生態系に配慮して持続可能な形で利用することです。漁業や農業などの産業での利用はもちろんのこと、憩いや遊びなどの場としての文化的な利用もあてはまります。



漁業

海水と淡水が混じりあっている島根県に位置する宍道湖は、しじみの全国漁獲量で常に上位に入る日本有数の産地です。しじみはエサとなる植物プランクトンなどとともに湖水を吸い込んで吐き出すことによって、水をろ過しており、水質浄化に役立っています。また、宍道湖のしじみ漁は、漁協で操業時間、休漁日や1日の漁獲量などのルールを設け適切に資源管理されています。



農業

宮城県の大田沼の水田では、収穫を終えた冬の水田に浅く水を張っておく「ふゆみずたんぼ」が行われています。「ふゆみずたんぼ」は、飛来したマガンやハクチョウに羽を休める場所を提供するばかりでなく、水田に生息するイトミミズの糞により土の質を改善するなど、農家にもめぐみをもたらしています。



観光

群馬県・栃木県・福島県・新潟県にまたがる湿原や沼が広がる尾瀬では、多くの人々が登山やハイキングを楽しんでおり、地元の経済を支えています。関係行政機関、尾瀬保護財団、事業者などが連携・協力して、ビジターセンターや木道、案内標識、公衆トイレや排水対策の整備、マイカー規制、ごみ持ち帰り運動、湿原の植生復元事業などの取り組みが行われています。

交流・学習

さまざまな主体が参加し、交流するしくみをつくることは、湿地のワイズユースを進めるカギとなります。新しい人材を育てる養成プログラムを設けることや人手が必要な活動において、ボランティアを募ることなどが考えられます。



名古屋の藤前干潟では、地元のNPOが自然観察会などのイベントの企画、現地学習の講師・補助を行うボランティア、通称「ガタレンジャー」の養成講座を開いています。このような養成プログラムで経験を積んだ修了生たちは、湿地を訪れる人々に、その魅力を伝えるという重要な役割を担っています。

人材育成

出典：環境省ウェブサイト「ラムサール条約と条約湿地」
環境省パンフレット「ラムサール条約湿地のワイズユース」

5. オーストラリア・ジロング市への派遣報告

名古屋市とオーストラリア・ジロング市は、藤前干潟と渡り鳥のルートでつながる湿地を有することにちなみ、2007年に湿地提携を締結しました。この提携に基づき、本市からはジロング市へ隔年で中学生等を派遣し、相互の交流を深めています。

新型コロナウイルス感染症の影響で派遣は中止となっていました。2024年は約6年ぶりに派遣が行われました。

名古屋市内の中学1・2年生から選抜された18名が、事前学習会で藤前干潟について学んだ後、3月24日から29日までオーストラリア・ジロング市を訪問し、ジロング市長の前で名古屋市や藤前干潟について英語で発表を行いました。また、干潟での体験や野鳥観察、地元の小学生との交流を通して、ジロング市の環境保全の取り組みを学びました。

帰国後は、この派遣で学んだことを事後学習会で記録誌にまとめ、市内で行われるイベントでステージ発表するなど、多くの人に伝える活動をしています。



ジロング市役所での発表



ジロング市の小学生と干潟体験



エコパルNEWS

特別ワークショップ

せん定枝を使ったトンボづくり

せん定枝を使った楽しい工作です。
手のひらサイズのトンボを作ります。



日時 10月27日(日)

午前10:30～11:10／午後1:00～1:40

対象 3～12歳の方(小学校3年生以下の方は保護者同伴)

定員 各30名(先着申込順)

費用 一作品500円

講師 もくもく楽舎
たけちゃん工房



申込方法

トンボ 10月11日(金)

トナカイ・ソリ 11月12日(火)

午前9:30～ 受付開始

電話 052-223-1066

E-mail a2231066@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

FAX 052-223-4199

必要事項 講座名、氏名、参加人数、
子どもの年齢または学年、電話番号

せん定枝を使ったトナカイ・ソリづくり

せん定枝を使った楽しい工作です。
手のひらサイズのトナカイとソリを作ります。



日時 12月7日(土)

午前10:30～11:10／午後1:00～1:40

対象 3～12歳の方(小学校3年生以下の方は保護者同伴)

定員 各30名(先着申込順)

費用 一作品700円

講師 もくもく楽舎
たけちゃん工房



他にも特別ワークショップを開催します。くわしくはウェブサイトをチェックしてね! ➡



マンスリー企画展示



10月
テーマ

せん定枝で作った
楽しい風景

11月
テーマ

藤前干潟の紹介

12月
テーマ

環境白書表紙絵
入賞作品展示

出展者

もくもく楽舎 たけちゃん工房

内容

せん定枝を使って作った可愛い「ぶたカエル」達が四季の楽しい風景や、童話・遊び・授業風景をテーマにした作品を展示します。

出展者

藤前干潟ふれあい事業実行委員会

内容

藤前干潟はラムサール条約に登録された、生きもの豊かな干潟です。そんな藤前干潟の自然と魅力、楽しみ方を紹介します。

出展者

名古屋市環境局環境企画課

内容

「令和6年度版 名古屋市環境白書 表紙絵募集」で入賞した作品を展示します。



エコパルなごやのメールマガジン「エコパル通信」のお知らせ

エコパルなごやのイベントや展示情報、なごや環境大学の講座情報など最新情報をタイムリーにお知らせします。エコパルなごやウェブサイトのトップページ「エコパル通信」の登録フォームにメールアドレスを入力すると登録できます。

エコパルなごや

検索

エコパルなごやでフードドライブを実施しています!

家庭にある手つかずの食品をお持ちください。フードバンク活動団体「セカンドハーベスト名古屋」を通じて、食べ物が必要とする方に届けられます。

※受取ができる食品には条件があります。

詳しくはこちらから ↓

名古屋市 フードドライブ

検索

日時 毎月8日～14日 9:30～17:00(休館日を除く)



なごや環境大学

「なごや環境大学ガイドブック2024後期号」 配布&ウェブサイト公開中!

なごや環境大学の後期共育講座では秋や冬に向けての環境を学べる講座を多数開催します。秋の色付く山や森での自然体験や寒い冬でも室内でじっくり学べる講座など、やりたい講座がきっと見つかります。詳しくはウェブサイトのラインナップや無料配布中の冊子「なごや環境大学ガイドブック2024後期号」をご覧ください。

ガイドブック配布場所

- 各区役所・支所
- 図書館
- 生涯学習センター
- スポーツセンター等

ウェブサイトは
こちらから



愛岐の里山たいけん隊～秋の里山にいこう!～

岐阜県多治見市諏訪町にある愛岐処分場は、名古屋市のごみの最終処分場。敷地内には、諏訪町の協力により再生した自然豊かな里山があります。里山の棚田でとれたお米での五平餅作りや芋ほりなど、里山の秋を楽しもう!処分場の見学もあります。お昼には、五平餅に加えて地元の食材をメインに使ったおいしい手作りごはんをいただきます。※状況により、一部プログラムが変更になる場合があります。雨天中止。

日時 11月9日(土)

場所 名古屋市愛岐処分場
(多治見市)

受講料 1,500円
(バス代・保険料・昼食代)

対象 小学4年生から中学2年生まで 20名

申込 10月25日(金)必着・抽選

- ①名前・ふりがな、②学校名、③学年、
- ④性別、⑤住所、⑥電話番号、
- ⑦FAX番号、⑧メールアドレス、
- ⑨アレルギー・バス酔いの有無



お申込
お問合せ先

「なごや環境大学」実行委員会事務局(エコパルなごや内)

〒460-0008 名古屋市中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ13階

TEL&FAX: 052-223-1223 / E-mail: jimu@n-kd.jp / HP: <https://www.n-kd.jp>



藤前干潟ふれあい事業のご案内



「藤前干潟スタンプラリー」

日時 11月1日(金)～30日(土)

内容 藤前干潟に関する施設を回って景品をゲット!

会場

- ①稲永ビジターセンター
- ②名古屋市野鳥観察館(港区野跡4-11-2)
- ③藤前干潟活動センター(港区藤前2-202)
- ④メイカーズピアMPギャラリー
(港区金城ふ頭2-7-1) ※11月27日(水)まで
- ⑤環境学習センター エコパルなごや
(中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ13階)

申込先

名古屋市ウェブサイトをご覧ください。



「ひがたにくるトリ、どんなトリ?」

日時 12月1日(日)午前10:00～正午

対象 どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

定員 40名(保護者含む、抽選)

締切 11月15日(金)

内容 楽しいトリのお話と野鳥観察をした後に、カモのミニ模型の色ぬりをしよう!

会場

名古屋市野鳥観察館・稲永ビジターセンター
(港区野跡4-11-2)
あおなみ線「野跡」駅または
市バス「野跡駅」バス停下車徒歩15分。
駐車場有。



藤前干潟ふれあい事業実行委員会(エコパルなごや内)

〒460-0008 名古屋市中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ13階

TEL: 052-223-1067 / FAX: 052-223-4199 / E-mail: a2662@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

Instagramもチェックしてね!▶



名古屋市環境学習センター

エコパルなごや

申込・問合せ先

TEL: 052-223-1066 FAX: 052-223-4199

<http://www.kankyo-net.city.nagoya.jp/ecopal/>

E-mail: a2231066@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号
伏見ライフプラザ13階

地下鉄東山線・鶴舞線の伏見駅[5番出口]徒歩7分

■開館時間／午前9時30分～午後5時 ■入館料／無料

■休館日／毎週月曜日 祝日の場合はその翌平日

年末年始 12月29日～1月3日

エコパルなごや

